

太平百合が原交通安全母の会

手作りの「カエルのマスク」に願いを込めて、地道な交通安全活動を積み重ねながら、子どもたちの笑顔を守っていききたいです。

私が思う、
北区の魅力・好きな場所

北区はとて広いので、エリアによって景色が変わるのが魅力です。私が暮らす太平百合が原地区は、のんびりとした雰囲気、人と人のつながりが変わらず残る温かな地域。百合が原公園という大きな公園があり、JRの沿線上なので利便性もあり、居心地の良い地域です。



太平百合が原交通安全母の会・太平百合が原連合町内会
会長 庵跡 邦子 さん

北区初の女性連合町内会会長としても活躍。太平百合が原夏まつりや、フラワーロードの花植えなど、様々な地域活動に貢献している。



太平百合が原交通安全母の会の皆さん。新入生にプレゼントするカエルのマスクは会員による手作りです

3つの幹線道路が東西南北に走る太平百合が原地区は車の交通量が非常に多い地域です。

「昔は空き地も多く、車通りもまだ少なかったんですけどね」と話すのは、太平百合が原交通安全母の会の会長である庵跡邦子さん。結婚を機に同地区に引っ越してきて50年。PTA活動の延長として関わり始めたという1983年発足の交通安全母の会は、1986年に会長を任ざられて以来、2022年で38年目を迎えました。

現在、会員は24人で、年に8回の街頭啓発や地区全体の決起集会、マスク作りなどが主な活動内容。毎年、太平小、太平南小、百合が原小の新入生約300人に「無事に帰る」という祈りを込めた手製の「カエルのマスク」をプレゼントしています。

「太平南小では毎年、入学式で子どもたちに直接交通安全を呼び掛けます。大人になった卒業生が、カエルのマスクを小学生の頃にもらいましたよ」と、声を掛けてくれたことがあって、とてもうれしかったですね」

子どもたちは地域の未来を

担う宝物。時間を見つけては自主的に自転車に乗って近隣のパトロールを行うこともあると言います。

こうした地道な努力が結果し、2022年4月に太平百合が原地区の死亡交通事故が2000日連続ゼロを記録。北区から連合町内会に対して表彰状が贈られました。

「地域の皆さんと共に3000日を目指していきたいです」と次の目標に向かって決意を新たにしている庵跡さん。悲しい事故を無くし、たくさん笑顔が増えるようにと祈りを込めて、優しいまなざしでまちを見守り続けています。

太平百合が原交通安全母の会
北区太平8条7丁目2-1
TEL.011-771-9180
(太平百合が原まちづくりセンター内)